

・こども家庭庁ができ、子育て環境がよくなるとわかりましたが、帯広に浸透していくのはいったい何年後になるのかなと思いつつながら講演を聞いていました。でも質疑タイムで市の方の心強いコメントもあり、帯広は近隣町村より子育て環境が恵まれていないと思っていましたが帯広市だって捨てたもんじゃないと思いました。でもきっと意欲はあっても日々の業務のなか新しくしていくのは大変なのだと思います。まずは、家庭でできること、教えていただいた子どもに権利を伝えることから始めていこうと思ひ、その日のうちにこどもの権利の絵本を借りて来れました。講演に参加したことで人任せから、まずは自分ができることを！に少し意識が変わりました。また、にじっこのみさきちゃんのレポに思わず涙でした。一見穏やかな子育てしているようでも本当のところは誰にもわからない。一人でも不安な親子が救われたこと、にじっこの存在意義は凄くあったなあと思いました。ステキな講演会をありがとうございました。準備などおつかれさまでした。

・体験格差が広がっている、どうしたらこの差を埋められるだろう ・今しかできないこの時にな色々な経験をさせてあげたいと思う ・にじっこのような、自分が自分でいられる、気持ちが安定する場所があることは、これから親子がどう歩むかに繋がる大切な場所だと感じた ・虐待、自殺、不登校が増えていること、子どもの居場所づくりが課題であることを強く感じる。日本でも学校へ行けない子ども達の居場所がもっと当たり前前に確保されるべきだと思う ・こどもの視点にたつこと、その子どもにとって最もよいことを第一に考える。まだまだ自分はできていないと感じるし、自分の子育てを振り返るきっかけになった。 ・自分は子どもとどんな未来を歩もうとしているか、どんな未来を皆で作れるか、考えていきたい。 ・心ある人が、携わっている人が、互いに繋がることで何か開けてくるのでは。人と人との繋がりや信頼関係が改めて大切だと感じた。

・講演会お疲れ様でした。

講演だけでは、ぼんやりしていましたが、にじっこの皆さんや子育て支援課の方のお話を聞いて目指す方向が見えて来ました。「役所にできる事は限りがある。繋ぐ事が行政の役割だが、不安を抱えていても来られない人がどれだけいるか想像する事が大事。不安が安心に変わるようになれば」と言って頂けて良かったです。

にじっこにつながれて良かったとの発言は心に刺さりました♡

不安を抱えて孤育てしている人に1人でも多く繋がれるといいですね。

法律を作るだけでなく、実際に困っている人を救うのが政治の役割です。

今月から選挙が始まります。

困っている人の声に耳を傾け、本気で寄り添い、行政に届ける議員が必要です。

子育ては、母親と家庭の責任とするのではなく、地域社会全体で子どもの幸せを願って…

大人の責任としてしっかり考え投票しましょうね

・私の住む町は子どもの権利条例もないので…今回の子ども基本法やこども家庭庁が刺激に動くことを願いますし、こちらも機会を見て、子どもの最善の利益のために求めていきたいと思っています。

しかし、社会構造の変化で子どものいる世帯がかなり減っているのも、子どもファーストに敏感である人がどれほど日本にいるのか…子育てしていたとしても、親の手の内にいれるのが幸せだと感じている人がまだまだ多いと思うので…そこがどう変わっていくのか、期待も含めて、見て感じて、そして、自身になにができるかを常に考え、行動していけたら、な…と。

・貧困や虐待の話は自分には遠い存在なのかなと思っていましたが、本日の講演を聞いて身近な存在なのだと痛感しました。こども家庭庁については興味を持って今後注目します。

・子育ての親の悩み、こども権利等についての取り組みは現在の課題を解決することだけでなく、次のより良い社会をつくる要素。良いお話でした。

・今日の佐藤純子さんのお話を聴くことができ良かった。家庭庁が発足することを知りました。データを提示され現実の厳しさを知りショックです。自分に何ができるか考えます。お母さんたちの力をすごいと感じます。働くことに忙しく子育て親子と一緒に居られる時間が短いと感じますが、育児休暇を利用し子育ての楽しさを感じてもらえることができると良いですね。保育所までは長時間預かりできますが学童(6才〜)期の預かり、お母さんたちが安心して預けられる場所づくりも大切だなと感じました。

・若いお母さんたちが多く参加してくれていたし、こども家庭庁や子どものしあわせについて考えてくれる人が多くいてくれることがまず良かった。家族関係社会支出、我が家も出してみようと思った。子どもがしあわせって何?となってしまうことすごく悲しく思います。帰ったら自分の子どもにも聞いてみたいと思う

・講師の時間が足りないのが残念。市職員も言っていたが4月から組織は変わるが、そこからどうなるか大人がどう感じどう動いていくか大切だと思うのでしっかり感じて動いていきたい。

・こども家庭庁に至った経緯や今後の内容を把握できました。国連の権利条例の具体化の一步という感じですね。反面、現状の背景にあるのは現場の態勢を維持できていないというところにあり、事務の集約、一元管理で対処できるレベルでなくなっていると思います。頭で考え、神経を通して末端に信号を流しても、末端にそれを受け止めて動くだけの養分、筋力、体力がなければ実際の行動には移れないと思います。またフィードバックするシステムも備えていなければ単に指示のたれ流しに終わり、末端の混乱を増す結果になることが心配です。

・保育園で働いています。にじこの活動がよく分かりました。保育園も通っていればいいだろうの場所にならず、子育てを一緒にできる場として動いていきたいと思います。

・佐藤先生のお話とても心に響きました。今一番気になるのは、子どもの貧困と体験格差です。あそびを選択できるのも体験や経験があってこそ、せっかくいい森があっても連れて行ってもらえない子も多い、あそびを知らない子が多いと思う。すべての子が幸せに自分ってけっこういいじゃんって思っ生きてられる社会にしたいですね。

・帯広に引っ越してきて、居場所を求めて入会したぷれいおん、にじこでした。ここにいると安心できて心にゆとりが生まれる。そんな場所でこどもがどうしたらよりよくなるかもっともっと考えていきたいです

・この場に参加できることがとてもありがたく感じました。大人が「本音」「真剣」に考え、語り合える場があることに感動。この輪が広がることを強く願います

・立場は違う中、自分のできること改めて考えなくては・・・。

・動画視聴でしたが、資料もいただき大変たすかりましたし勉強になりました。また講師の佐藤様が見えにくい資料へのアクセスの方法等も教えていただけて、早速DLし学びを深める事ができました。貴重な機会をありがとうございました。